

オアシス つうしん

第104号 2022. 2.4
 諏訪圏域障がい者総合
 支援センター オアシス
 tel 54-7713/fax 54-7723

■ 1月の自立支援協議会報告

- *運営委員会 27日(木)
- ・第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画推進会議(1/20)より
- ・地域生活支援部会防災WGより 災害時情報シートについて
- ・精神障がいにも対応した包括ケアシステムについて
- ・オアシス評価について



研修会・研究会・イベント情報(詳しい情報は各団体、またはオアシスまで)

*新型コロナウイルスによる感染症拡大防止の為、中止や延期になる場合があります。

♣ 就職事例から学ぶ 大好評セミナー第2段 就職者の声

SAKURA 岡谷センターから就職されたOBの方をお招きして、就職活動・現在のお仕事・やりがい…など、生の声をお聞きます!

- 【日時】 2月23日(水) 10:30~11:45
- 【場所】 就労移行支援事業所 SAKURA 岡谷センター
 新型コロナウイルスの状況によって中止又は
 オンラインのみでの開催になる可能性があります
- 【締切】 2月16日(水)
- 【定員】 10名
- 【問合せ】 TEL 0266-21-1380
 FAX 0266-21-1381
 MAIL sakura_okaya@socat.jp (担当 岡田)
 HP QRコードからお申込できます



就職事例から学ぶ 大好評セミナー第2弾!!

就職者の声

SAKURA岡谷センターから就職されたOBの方をお招きして
 就職活動・現在のお仕事・やりがい…など、生の声をお聞きます!

内容

- ・SAKURAの研修はどう経験に役立った?
- ・SAKURAはどのような支援もしているの?
- ・就職活動で大変だったことは?
- ・就職するまでしてよかったこと…など

このような方にオススメです!!

- ・就職までの流れのイメージをつかみたい人
- ・就職活動のポイント、コツを知りたい人

対象の方

- ・就職活動を始めるように思っている方とそのご家族
- ・就活しているけれど思うように進まない
- ・就活を始めたけれど何をしたらいいかわからない

質疑応答コーナーで、直接質問もOK!!

参加無料

日程 2022年2月23日(水)
 時間 10:30~11:45 (受付10:15~)
 会場 就労移行支援事業所 SAKURA 岡谷センター
 その他 新型コロナウイルスの状況によっては中止又はオンラインの
 形で開催になる可能性があります。

締切/定員 2022年2月16日(水) 定員10名

ご予約・お問い合わせ

※ZOOMでの参加も可能です。詳細は画像をご確認ください。

TEL 0266-21-1380 受付時間 平日 9:00~18:00
 FAX 0266-21-1381
 MAIL sakura_okaya@socat.jp (担当 岡田)

♣ 自閉症をはじめとする障がい者アート展 ぶるーぶるー2022



- 【日程】 2/4(金)~2/24(木) 土日祝日は除く
 9:00~15:00
- 【場所】 長野県信用組合 諏訪支店ロビーアート
 カレッジちゃおの皆さんのすてきな作品が展示されていま
 す
- 【問合せ】 世界自閉症啓発デー ライトアップ委員会
 Light.up.committee@gmail.com

❁ 発達特性から不登校を考える

不登校になる要因や具体的な支援の方法について、信州大学医学部付属病院子どものこころ診療部の本田秀夫先生のお話をお聞きしながら考えます。

【講師】本田秀夫 先生

【期間】2/26(土)～8/26(金)

YouTubeを使った動画配信です。

【動画視聴アドレス】<https://youtu.be/maL65zN7pBs>

【講義用資料配布】講義時に使われた資料を希望する方は、

①お名前 ②所属 ③連絡先電話番号をご記入の上、以下のアドレスまで申込みメールを送信してください。

資料申込みアドレス：noboru@shinano-iryō.or.jp

❁ 「発達障害のある女の子・女性の問題と支援」～身体・心・関係の視点から～

【講師】岐阜大学医学教育開発研究センター併任講師

川上ちひろ先生

【日時】2月19日(土) 13:30～15:30

【形式】ZOOMによるオンラインセミナー

【参加費】1000円

【定員】99名

【申込み】<https://shinshu2021.peatix.com>

【問合せ】長野県立こころの医療センター駒ヶ根

TEL 0265-83-3181

(医局事務 高橋)

MAIL niimi213ta@gmail.com(担当 新美)

❁ 令和元年東日本台風 復興フォーラムNAGANO

～復興期の被災者・被災地支援から未来に向けた発信～

【期日】2月21日(月)～22日(火)

【視聴方法】オンライン(ZOOM)

【参加費】無料

【プログラム】

2月21日(月)	
10:30～12:00	13:00～16:00
社会福祉施設・事業所BCP (事業継続計画)策定をみんな で進めよう!	「災福マップ」で防災×地区役員×福祉職の思いをつなぐ～ 実証実験成果発表会～

2月22日(火)	
10:30~12:00	13:00~15:00
復興NAGANOシンポジウム～令和元年東日本台風から2年 災害コミュニティソーシャルワークから地域共生社会を描く～	
<第1部> シンポジウム	<第2部> ディスカッション

【申込み】 URLからお申し込みください <https://forms.gle/Hztf3wv1kJF55w8VA>
2月15日(火)まで

【問合せ】 長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
MAIL kikaku@nsyakyo.or.jp

♣ 2022ながの発達障害啓発週間「結」プロジェクト チャリティーセミナー

自閉症をはじめとする発達障がいについて、長野県民の皆さんに関心を高め理解を深めていただく為、長野県、JDDnet ながのは、親、家族の皆さんと協力して啓発活動「結」プロジェクトを行っています。

【日時】 2月13日(日) 12:00~17:00
オンラインセミナー

【参加費】 ①セミナー&オンデマンド視聴 2,000円
②チャリティーセミナーのみ 1,200円
③当日限定オンデマンド視聴のみ 800円
Peatex でのチケット販売

【チャリティーセミナー】

- ・講演会：精神保健福祉士が関わる就労支援
- ・行政説明：「高校入試における合理的配慮申請フロー」の紹介 等
- ・研修会：「読み」「書き」が困難な子どもの疑似体験と支援
- ・講演会：言語聴覚士による発達支援
- ・トーク：長野県自閉症協会 LD 発達障害児・者親の会「よつ葉」の会
- ・長野県公認心理士・臨床心理士会：各30分個別の発達相談（予約制）

【当日限定オンデマンド視聴】JDDnet ながの 0:00~23:55「災害支援と二次障害～コロナ渦の中で」

2022
ながの発達障害啓発週間「結」プロジェクト
チャリティーセミナー

【日時】 2022年
2月13日(日)
12:00~17:00
オンラインセミナー

【参加費】
①セミナー&オンデマンド視聴 2,000円
②チャリティーセミナーのみ 1,200円
③当日限定オンデマンド視聴のみ 800円
Peatexでのチケット販売

【当日限定オンデマンド視聴】
JDDnet ながの 0:00~23:55
「災害支援と二次障害～コロナ渦の中で」

♣ 令和3年度 サンアップル障がい者スポーツ研修会開催要項

【期日】 2月26日(土)
【時間】 12:50~16:30(受付12:20~)
【内容】 『地域で取り組むパラスポーツ』
『障がいに応じたスポーツ指導・支援』



分科会①（実技）「車いすポートボール」

講師：馬島 誠氏 パラリンピアン／元パラアイスホッケー日本代表

分科会②（実技）「ニュースポーツの工夫」

講師：サンスポート職員

【会場】 宮田村民会館 研修室および宮田村体育センター
(〒399-4301 上伊那郡宮田村7021)

【定員】 40名(先着順)

【費用】 受講料 無料

【持ち物】 動きやすい服装・上履き・昼食(各自でご用意ください。)

【募集期間】 2月12日(土)まで

【申込み】 センター受付の他、ファックス、Eメール、電話、郵送での申込みを受け付けます。
申込用紙は、サンアップル・サンスポートホームページより入手できます。

【問合せ】 〒399-4117

長野県駒ヶ根市赤穂1694 長野県看護大学プール棟内

障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根 「サンスポート駒ヶ根」

(担当) 柴山 吉田

TEL&FAX 0265-82-2901 MAIL sunsport@mx2.avis.ne.jp



♣ ガレージとーく うつ病で、語る、つながるミーティング

『ガレージとーく』は、うつ病の当事者を対象としたピアサポートの場です。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで、繋がりや癒しを感じてみませんか？

ガレージとーく 第91回ミーティング

うつ病で、語る、つながるミーティング

●日時:2022.2.20(日)14:00~16:30
 ●参加方法:オンライン(ZOOMを使用します)
 ●参加対象:診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方
 ●参加費:500円(クレジットカード、コンビニATM、PayPal、銀行口座振替)
 ●定員:6名(先着順)
 ●参加申込:Peatixサイトからお申し込みください
<https://garagetalk91.peatix.com/>

『ガレージとーく』ってどんなところ？

「ピアサポート」とは、「仲間」という意味のピアと「支え」とを意味するポートを合わせた言葉で、同じ病気の人が悩みを共有し、支え合ったりします。『ガレージとーく』は、うつ病の当事者を対象としたピアサポートの場です。ミーティングでは当事者同士が集まり、悩んでいることや新しい気づきなどを共有します。参加者にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで、繋がりや癒しを感じてみませんか？

冬になると気分が落ち込む
 体の冷え 寝寝がつかない
 利用できる 社会資源や制度を知りたい
 ペンション薬剤師について知りたい

任意団体NPO うつリカバリーエンジン
 電話:090-4823-7494(代表:長谷川)
 メール:garagetalk@u2recovery.org
 ホームページ:https://u2recovery.org

【日時】 2月20日(日) 14:00~16:30

【参加方法】 オンライン(ZOOMを使用します)

【参加対象】 診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方

【参加費】 500円

【定員】 6名程度

【参加申込】 Peatix サイトからお申し込みください

<https://garagetalk91.peatix.com/>

【問合せ】 任意団体NPO うつリカバリーエンジン

TEL 090-4823-7494 (代表:長谷川)

MAIL garagetalk@u2recovery.org

HP <https://u2recovery.org>

令和3年度 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

♣ 子どものこころ診療センター公開講座 開催要領

インターネットが普及した社会の中で、子どもを含め、だれもが罹患するリスクを抱えているインターネット・ゲーム依存症。令和4年春より当院でもインターネット・ゲーム依存症の診療が始まります。当院での診療をご紹介しながら、インターネット・ゲーム依存症について、どんな病気なのか、どんなケアや対応が必要かを、分かりやすく解説します。

【対象】 子どもの心の支援等に関わる医療、教育、福祉関係者（長野県内）

250名（ZOOM接続）定員

※申込者多数の場合は調整する場合があります。

【日程】 2月27日（日）10:30～12:00

【実施方法】 ZOOMによるオンライン（WEB）講座

【参加費】 無料

【申込み】 申込み期限：2月18日（金）17時まで

<お申込みフォーム>

<https://forms.gle/3wkFjMrkFhUuv7Td8>

【問合せ】 こころの医療センター駒ヶ根 精神科研修・研究センター

MAIL komagane-60th-anv@pref-nagano-hosp.jp

TEL 0265-83-3181

担当 小林（有）・高橋



■ 新規事業所紹介

♣ 放課後等デイサービス あん school

春休み直前に放課後等デイサービス『あん School』を開設いたします。

支援者様からの相談は2月1日より、見学体験受け入れは3月4日より、児童受け入れは3月14日より開始予定です。

【特色】 18歳の出口を見据えてSM社会生活能力検査を活用しながら療育を行います。

【場所】 茅野市宮川3987-3（あん訪問看護ステーション内）

【問合せ】 放課後等デイサービスあん school

TEL：事業所の皆様からの問い合わせ窓口は、080-1151-0749（元島）

基礎情報は an.school.2022@gmail.com まで



このオアシス通信は就労移行支援事業所SAKURA岡谷センターの利用者様が研修の一環として作成しています



■ リレーずいそう 第 103 回

【就労継続支援 B 型 「もくもく」 職員の清水正一さん】

NPO 法人ちゃお 多機型事業所 就労継続支援 B 型 「もくもく」 職員の清水正一が担当いたします。もくもくは長野県、並びに諏訪地方の端っこにある作業所です。よろしくお願いいたします。



この原稿の依頼を受けてこんなことを思い出しました。何十年も昔、私がまだまだ小さいころは、今よりもずっとにぎやかな子供たちの声が街に溢れていました。近所の小道や広場に行けば体のサイズよりも大きな大人用の自転車に乗る練習をして転んでひざをすりむいたり、今では地震の際に崩れる恐れから少なくなってきてはいますが当時は家と家の間や道路と庭の境目に多く築かれていた軽石ブロック塀によじ登り、バランスをとって、どこまで長い距離を地面に降りずに行かれるか競争をしたり、桑の棒で弓と矢を作って飛ばしたり、手つなぎ鬼やら何やらの鬼ごっこをしたりして暗くなって母親に「ご飯だよ～」と呼ばれるまで、遊びまくっていたものです。鬼ごっこの時には鬼役の子にタッチされると今度はタッチされた子供が鬼となるシステムがありましたが、今回、順番が回ってきて、なんだか遊びまくっていた当時のこの鬼ごっこのシステムみたいだな。なんて昔のことを思い出しました。懐かしいなあ。

もくもくでは利用者さんに隔週で通信を出しています。「もくもくなるいちにち」という名前の通信です。過去出したものを紹介してみたいとおもいます。

この頃は朝も暗いので前照灯をつけて信濃境に向かいます。ラッシュ前なので 20 号線はスイスイです。茅野を過ぎてセメント工場を右側に眺めて坂を下ったところに信号機があります。車道の信号が赤となると、ランドセルを背負った小学校低学年とみられる子と、お母さんとおぼしき女性が渡り始めます。渡り終わると、2 人ともに右を向き深々と頭を下げ、すかさず左に向きなおり同じように頭を下げて路地に入っていきます。赤信号で止まるのは当然の事です。それなのに丁寧に辞儀のお礼をいただけるなんて……………（いや～ なんかうれしいねえ。こちらこそ有難う）頭の中でそう言っている私があります。富士見町に入りパノラマスキー場へ向かう神戸の信号でも 2 人の小学生が押しボタン式の信号の横断歩道を渡りきると、同じように丁寧な辞儀をして飛び跳ねるように学校へと向かっていきます。町の中に入ると信号機の無い横断歩道では、小学生や中学生だけでなく旗を持って子供たちを安全に横断歩道を渡らせていただいている叔父さん達までおじぎのお礼をしていただいています。横断歩道わきに人が立っていたら止まらなくてはならないことはルールなのに丁寧なお礼をしていただけるなんて、毎朝すがすがしい気分にしていただいています。長野県は横断歩道のわきに人が立っていると、車が止まる割合が全国 1 位だそうです、その理由もわかるような気がします。

おじぎをして感謝の意をあらわされたり、「有難う」とお礼を言われたりする時の、行為や言葉が行ったり発したりした瞬間に消えてしまいます。でも相手の心の中には、ほのぼのとする気持ちや嬉しさとして、長く残ったりします。時には意欲を喚起したり持続させたり、僕も捨てたもんじゃなかな。というような思いまで醸成させていただいたりもする。ということを毎朝確認させてい

ただいています。私も、そう感じるのですから皆さんも同じことを感じるのではないかと思います。人間関係で難しいことを論じたりすることも多いと思いますが、基本的な事挨拶や感謝の言葉などは、意外としていないようで、案外見落とされていて、軽んぜられているんじゃないかなと思う今日この頃です。基本をおろそかにせずに生活していきたいと思います。マザー・テレサさんは思考に気をつけなさい。それは言葉になるから。そして言葉は行動になりやがては習慣に。習慣は性格になり、いつか性格は運命になってしまうと、私たちに伝えていています。運命になる。自分に返ってくるということですよ。そのことを思うと、「ありがとう」の言葉や感謝の気持ちを表すことは、その相手から、巡り巡って自分に返ってくるということだと思います。自分の周りをあたたかい雰囲気にしたいのならば、感謝の気持ちを表すことや、有難う等の言葉を自らが広げていくことが大事になってくるのだろうなと思います。



もくもくの通信「もくもくなるいちにち」からでした。

さて次回ですがもくもくに職員でおいでいただいている宮坂欣幸さんにタッチしましたのでお楽しみに。私と違い若い青年のフレッシュな感性を心の中に吹き込んでいただけたと思います。よろしくお願ひします。

■ 2月の日程（自立支援協議会、オアシス）

- 2月 4日（金） 13：30 療育支援部会
- 2月 7日（月） 15：00 医ケア児部会
- 2月 9日（水） 16：00 グループスーパービジョン
- 2月 15日（火） 13：30 就労支援部会
- 2月 17日（木） 13：30 相談支援部会
- 2月 22日（火） 13：30 地域生活支援部会

